

# いのちと子どもを守る政治を

## 蓮田市議会6月定例会

# 新蓮田

No. 1956  
2015. 7. 19  
日本共産党  
蓮田市委員会  
Tel 769-4667  
発行責任者  
清水 敏夫

生活相談は  
お気軽にどうぞ  
きしお悦子  
769-6523  
栗原 勇  
769-0322  
船橋ゆき子  
768-6554

日本共産党発行  
**しん赤旗**  
日刊 3,497円  
日曜版 823円

蓮田市議会6月定例会は、6月10日開会、議員20人中16人が一般質問を行い、市長提出議案の介護保険条例の一部改正や蓮田市一般会計補正予算などの6件と追加議案1件の計7件、議員提出議案の1件を可決し、6月30日閉会しました。

## 民間委託は反対 「学校給食は教育の一環」

6月議会定例会に補正予算が提案され、日本共産党は反対しました。反対の理由は、小学校給食調理業務委託費です。昨年度末の希望退職により、1学期中は臨時職員で対応してきた蓮田中央小の給食を、2学期から民間委託とするというものです。

学校給食の民間委託は1997年度から蓮田南小を皮切りに導入され、職員の定年退職に合わせて進められ、これまで市内13校中12校で民間委託となっています。一方、民間委託の議論の中で、栄養士を各校に配置することを必要とされています。また、教職員や保護者への対応が必要とされています。

蓮田市では、現在アレルギー除去食の対応だけでなく、アレルギーの代替食が必要とされています。直営方式であれば、現場でも教員や栄養士と調理員が一緒に協働できますが、民間委託では法律上、委託業者に対して栄養士は調理員のチーフにしか指示をすることができません。また、学校行事などの参加はしておらず、調理部門だけ、学校教育と切り離されているのです。

## 介護保険料 低所得層が軽減に

国の介護保険法の改正により、今年4月から低所得者の保険料軽減策として、第6期（2015～2017年度）の第1段階の保険料を年額2万8200円から2万5300円に2900円の減額、月額では2350円から2115円の235円の減額になりました。



## 市議会議員任期前半の所属決まる

市議会議員任期前半の議長等の役職をはじめ委員会の所属が決まりました。(敬称略)

- 《議長選挙結果》
- 山口 浩治 (新栄会) 14票
  - 岸尾 悦子 (日本共産党) 3票
  - 山口 京子 (新樹会) 2票
  - 湯谷 百合子 (無所属) 1票
- 《副議長選挙結果》
- 山口 京子 (新樹会) 17票
  - 栗原 勇 (日本共産党) 3票
- 《日本共産党議員団の所属》
- 岸尾 悦子 (党市議団長) 総務委員会 土地開発公社理事 国民健康保険運営協議会 文化財保護審議会
  - 栗原 勇 建設経済委員会委員長 議会運営委員会 埴葛斎場組合議会 行政改革推進委員会 民生委員推薦会
  - 船橋 由貴子 民生文教委員会 議会だより編集委員会 衛生組合議会 保育園入園選考委員会 小・中学校通学区区域編成審議会

## 「戦争法案反対」の声大きく 蓮田で120人がつどい・パレード

「戦争はいやだ！憲法9条を守ろう市民のつどい&パレード」が7月12日(日)、根ヶ谷戸公園で開かれ、120人が参加しました。(写真上) 全国に戦争法案反対の運動が広がるなかで「地元蓮田でも何かしたい」と有志が実行委員会をつくり企画したものです。インターネットでも宣伝し、「戦争法案反対の一点で集まろう」と広く呼びかけました。

集会ではリレートークが行われ、安倍自公政権が強行しようとしている戦争法案をストップさせる強い思いが語られました。つどいの後は「9条こわすな」「戦争させない」「誰の子とも殺させない」などのカードを手にし、リズムカルに「戦争法案今すぐ廃案」「垣根を超えて声をあげよう」などとコールしながら、蓮田駅東口までパレードを行いました。参加者から「コールでは子どもの未来を犠牲にするなどひどいわ声を張り上げた。」「何かしたいと思っていました。東京は遠いから、地元でこういう機会を待っていた」との感想も寄せられました。戦争法案反対の声をさらに大きく広げていきましょう。

# 市民要求の実現めざし

## 日本共産党の3市議が一般質問

### SOSのサイン見逃さず

#### 生活困窮者の命を守る支援を

##### きしお 悦子議員



昨年9月、千葉県銚子市で生活困窮から家賃を滞納し、県営住宅明け渡しの強制退去の日、母親が13歳の一人娘を殺害する事件が起きました。

専門家は「事情も聴かずに立ち退きを強制した千葉県にも、経済状況を聴取せずに生活保護の申請を受理しなかった銚子市にも問題があった。困窮者には行政側が積極的な情報提供やアドバイスが必要」と語っています。

きしお議員は「住民の命を守ることは私の議員活動の大きな柱であり、生活困窮による悲しい事件を起こしてはならない」「生活困窮は滞納がSOSのサインで、各課や外郭団体と連携した全庁的な取り組み、仕組みづくりが必要」と質問。部長は「自立支援調整会議を立ち上げた。全庁的に早期につながる取り組みを周知し、ネットワークづくりを充実していく」と答弁しました。

### 学習支援事業の実施を

市では今年4月からの学習支援事業を実施しませんでした。きしお議員の質問に、部長は「7月中旬から生活保護世帯の中学生を対象に準備している。来年度は生活困窮者支援法の学習支援事業として、中・高校生まで拡大し、予算化に努めたい」と答弁しました。

### 小中学校普通教室に エアコン設置を早急に

##### 栗原 いさむ議員



子どもたちから「汗が流れてノートや教科書がぬれてしまう」とエアコン設置を待ち望む声がよせられていきます。日本共産党蓮田市委員会は、「普通教室にエアコン設置

を求める署名」を集め、中野市長に届けました。

市長は今年3月議会中で「エアコン設置は、時代の要請である。なるべく早く整備していきたい」と前向きな答弁をしています。

これをふまえ栗原議員は、子どもたち・保護者・市民の熱い思いを受け止めて、早急に設置するための今後の計画について質問しました。

担当部長は、「今後は、検討していく組織を今年度中に立ち上げ、設置の方針・スピード・地元経済への貢献等検討したい」と答えました。

栗原議員が「教育委員会が今まで集めてきた情報、検討状況を示して一定の考えを持たないと中々進まない」と早期計画を求めたのに対し、市長は、導入に向けて、白紙から検討するというのではない」と答えました。

熱中症が心配される昨今、エアコン設置は待ったなしです。

### 食品の放射性物質

#### 検査機器の十分な活用を

##### 船橋 ゆき子議員



しました。

ただけ払しよくする対応を考える」と答弁しました。

市は対象を狭めず、検査機器を十分に活用すべきです。

身近な遊び場の整備・増設を

市民持込みの食品の放射能検査対象は「市内で消費される食品」でしたが、昨年7月から「自家栽培で自家消費の作物」に変更されています。

船橋議員は「流通品の椎茸が22ベクレルだった検出例もある。いただき物も口にすべし」と質問しました。

市長は「市民の不安をでき

船橋議員は、子育て世代から寄せられる「歩いて行ける遊び場がほしい」「行きたい公園があるが、整備されていない」という声を紹介し、遊び場の整備・増設を求めました。

市長は「少しずつでも児童公園の設置ができるよう努力したい」と答弁しました。

子どもの成長は早いものです。身近で安全に遊べる場を早急に整えるべきです。

### 傍聴席

少しドキドキしながら聞いていましたが、調査を十分に行い、市民の声をしっかりと聴き、質問に反映していた内容に感動しました。市長も前向きな答弁をしており、これからの船橋議員の活躍が期待が持てる一般質問でした。

(小山由利江)